

特定非営利活動法人 津軽半島観光アテンダント推進協議会

【設立趣旨】

1. 趣 旨

平成 22 年の東北新幹線全線開業は移動時間の大幅な短縮をもたらし、観光の広域化の流れも実現させ、津軽半島にもこれまで以上に多くの観光客が訪れるようになりました。

一方、北海道新幹線奥津軽駅(仮称)開業を平成 27 年度に控え、新幹線が開業した後の観光客誘致の地域間競争が一層激しくなっていくことが予想されています。

その競争に残っていくためには、津軽半島を訪れる県内外の観光客に、より高い満足感を与え何度でもこの地を訪れるよう更なる受け入れ態勢の充実に向けた努力を重ねることが必要となり、そのためには地域の魅力を高めていくと共に広域観光や着地型観光ルートの開拓、またそれらの情報発信の重要性も考えていく必要があります。

私たち「津軽半島観光アテンダント推進協議会」は、津軽半島を新たな観光コンテンツとして捉え、県及び地元市町村並びに民間団体が一体となって、太宰治の魅力や立佞武多をはじめとする津軽半島の観光資源、伝統、文化、食、特産物等の情報を全国に向けて発信してまいりました。

これからの観光振興と地域の更なる活性化のため、新たな観光コンテンツの発掘、地域の魅力作りによって、地域社会の発展及び経済活動の活性化に寄与することを目的として「特定非営利活動法人 津軽半島観光アテンダント推進協議会」を設立するものです。

2. 設立にいたるまでの経緯

平成 21 年 5 月活動を開始した「奥津軽トレインアテンダント」は、奥津軽地域のシンボル「津軽鉄道」に乗車しながら西北地域の観光、伝統文化、食、特産物等の情報を全国に向け発信し大変好評を得ていました。また季節に応じた列車の運行、テーマを設定したイベント列車の企画運行も手がけてまいりました。その活動は、平成 24 年 4 月設立された「津軽半島観光アテンダント推進協議会」に引き継がれ、活動範囲を奥津軽地域から津軽半島 10 市町村に拡大し、津軽半島各地域の魅力を発信することはもとより、地域の特産物を集め観光客に試食していただくイベントの開催や自ら立佞武多を製作し運行させるなど地域活性化にも努めてまいりました。

北海道新幹線奥津軽駅(仮称)開業を控え、更なる観光振興及び地域活性化に寄与することを目的にその活動を、次なるステージ「特定非営利活動法人 津軽半島観光アテンダント推進協議会」へステップアップいたします。

【目 的】

当法人は、市民（地域）、企業、行政と連携し津軽半島全地域の情報発信を県内外に行い、地域外からの観光客の誘客を図り、訪れる観光客に対し情報と利便性の提供を行い、地域社会の発展、地域経済活動の活性化に寄与することを目的とします。

【活 動】

1. まちづくりの推進を図る活動
2. 観光の振興を図る活動
3. 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
4. 以上に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

【事 業】

（1）特定非営利活動に係る事業

1. 観光情報の発信及び誘客促進に関する事業
2. 観光客のガイドに関する事業
3. 体験型観光など新たな観光資源開発に関する事業
4. 地元特産品の情報発信
5. 市民レベルの観光事業振興に関する事業
6. その他目的を達成するために必要な事業

（2）その他の事業

1. 観光ガイドに関する事業
2. 旅行業法に基づく旅行業
3. 各種イベントに関する事業
4. 刊行物及び物品の企画・製作・販売に関する事業
5. 農産物、水産物等及び特産品、土産品の販売
6. 業務請負事業及び代行事業